



2013年2月期 通期決算説明会

**2013.4.18**

## 2013年2月期 決算概況

本資料に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 1. 連結業績 - 損益概況

売上高185,512百万円(前期比107.5%)、経常利益989百万円(計画差+989百万円)

(金額単位:百万円)

	前期実績		2013.2期通期							
	実績	構成比	予想	構成比	実績	構成比	前期差	前期比	計画差	計画比
売上高	172,511	100.0%	188,000	100.0%	185,512	100.0%	+13,001	107.5%	2,487	98.7%
売上総利益	84,594	49.0%			93,023	50.1%	+8,429	110.0%		
販管費	90,496	52.5%			94,300	50.8%	+3,804	104.2%		
営業利益	5,902	-3.4%	500	-0.3%	1,277	-0.7%	+4,624		777	
経常利益	11,393	-6.6%	0	0.0%	989	0.5%	+12,383		+989	
税前当期純利益	23,858	-13.8%			2,772	1.5%	+26,631			
当期純利益	26,983	-15.6%	1,960	-1.0%	1,779	-1.0%	+25,203		+180	

\* 前期は経営統合に伴い、第1四半期はサンエー・インターナショナルグループの業績が計上されていなかったが、比較のためサンエー・インターナショナルグループの同期間の業績を単純合算して表記

\* 予想は2012年11月14日発表の業績予想

- 売上高 : 秋冬商戦が苦戦し、下期既存店前期比97.1%
- 営業利益 : 低収益事業の撤退等により前期比で赤字幅が縮小
- 経常利益 : 金融資産の評価益1,039百万円、為替差益214百万円を営業外収益に計上
- 特別利益 : 投資有価証券売却益1,884百万円、関係会社売却益2,750百万円、負ののれん968百万円を計上
- 特別損失 : 投資有価証券売却損477百万円、ベトナム工場売却関わる費用619百万円、早期退職関連費用525百万円を計上、関係会社整理損836百万円を計上

## 2. 連結業績 - グループ別概況

### 東京スタイルグループ (単体・子会社別での前期比較)

(金額単位:百万円)

	2012.2期実績				2013.2期実績						
	単体	子会社	消去・その他	合計	単体	前期比	子会社	前期比	消去・その他	合計	前期比
売上高	27,025	49,289	6,186	70,128	23,461	86.8%	68,780	139.5%	9,617	82,624	117.8%
売上総利益	9,456	23,073	341	32,188	8,459	89.5%	31,551	136.7%	294	39,716	123.4%
売上総利益率	35.0%	46.8%		45.9%	36.1%	+1.1pt	45.9%	0.9pt		48.1%	+2.2pt
販管費	17,811	19,106	2,205	39,123	14,710	82.6%	26,553	139.0%	585	41,849	107.0%
販管費率	65.9%	38.8%		55.8%	62.7%	3.2pt	38.6%	0.2pt		50.6%	5.1pt
営業利益	8,354	3,966	2,546	6,935	6,250		4,997	126.0%	879	2,132	
経常利益	13,403	3,900	2,620	12,123	4,805		5,726	146.8%	1,094	173	
税前当期純利益	30,551	3,413	661	27,800	5,793		5,749	168.4%	83	38	
当期純利益	31,314	1,957	922	30,280	5,799		3,127	159.8%	319	2,991	

- 売上高 :【単体】 ブランド閉鎖、不採算店舗の撤退により、総店舗数が減少したため減収  
:【子会社】 前期期中にM&Aした企業の売上が通年ベースで寄与したことにより増収
- 販管費 :【単体】 不採算事業の撤退により、販管費率が大幅に低下
- 営業利益 :販管費率の低下、子会社の利益寄与により、赤字幅が縮小

### 3. 連結業績 - グループ別概況

#### サンエー・インターナショナルグループ

(金額単位: 百万円)

	前期実績		2013.2期実績			
	実績	構成比	実績	構成比	前期差	前期比
売上高	102,480	100.0%	102,859	100.0%	+378	100.4%
売上総利益	52,440	51.2%	53,441	52.0%	+1,000	101.9%
販管費	51,415	50.2%	52,735	51.3%	+1,319	102.6%
営業利益	1,024	1.0%	705	0.7%	319	68.8%
経常利益	891	0.9%	1,083	1.1%	+192	121.6%
税前当期純利益	38	0.0%	2,591	2.5%	+2,552	6730.8%
当期純利益	610	-0.6%	1,520	1.5%	+2,131	

\* 前期は経営統合に伴い、第1四半期の業績が計上されていなかったが、比較のため同期間(2011/3～2011/5)の業績を前期実績に加算して表記

- 売上高 : 上期は前期比105.3%となったものの、下期は子会社の非連結子会社化、既存店の苦戦により前期比95.9%となり、通期では前期比100.4%
- 営業利益 : 上期は増益だったものの、下期は売上総利益率の低下、販管費の増加により減益

## (1) 特別利益 - 資産の有効活用を進める

固定資産売却益	454百万円
投資有価証券売却益	1,884百万円
関係会社株式売却益	2,750百万円
負ののれん発生益	968百万円
その他	352百万円
特別利益合計	6,408百万円

## (2) 特別損失 - 構造改革に伴う費用を計上

固定資産除却損	638百万円
減損損失	411百万円
投資有価証券売却損	477百万円
関係会社株式評価損	619百万円
関係会社株式整理損	836百万円
早期退職関連費用	545百万円
その他	1,099百万円
特別損失合計	4,625百万円

## (1) 配当の実施

**安定的な配当水準の維持**

- 経営環境、業績、財務の健全性等を総合的に勘案
- 内部留保金については、新規ブランドや成長性の高い新事業の開発と、新規出店等への設備投資等に充当し、企業価値の向上を図る

**配当金**

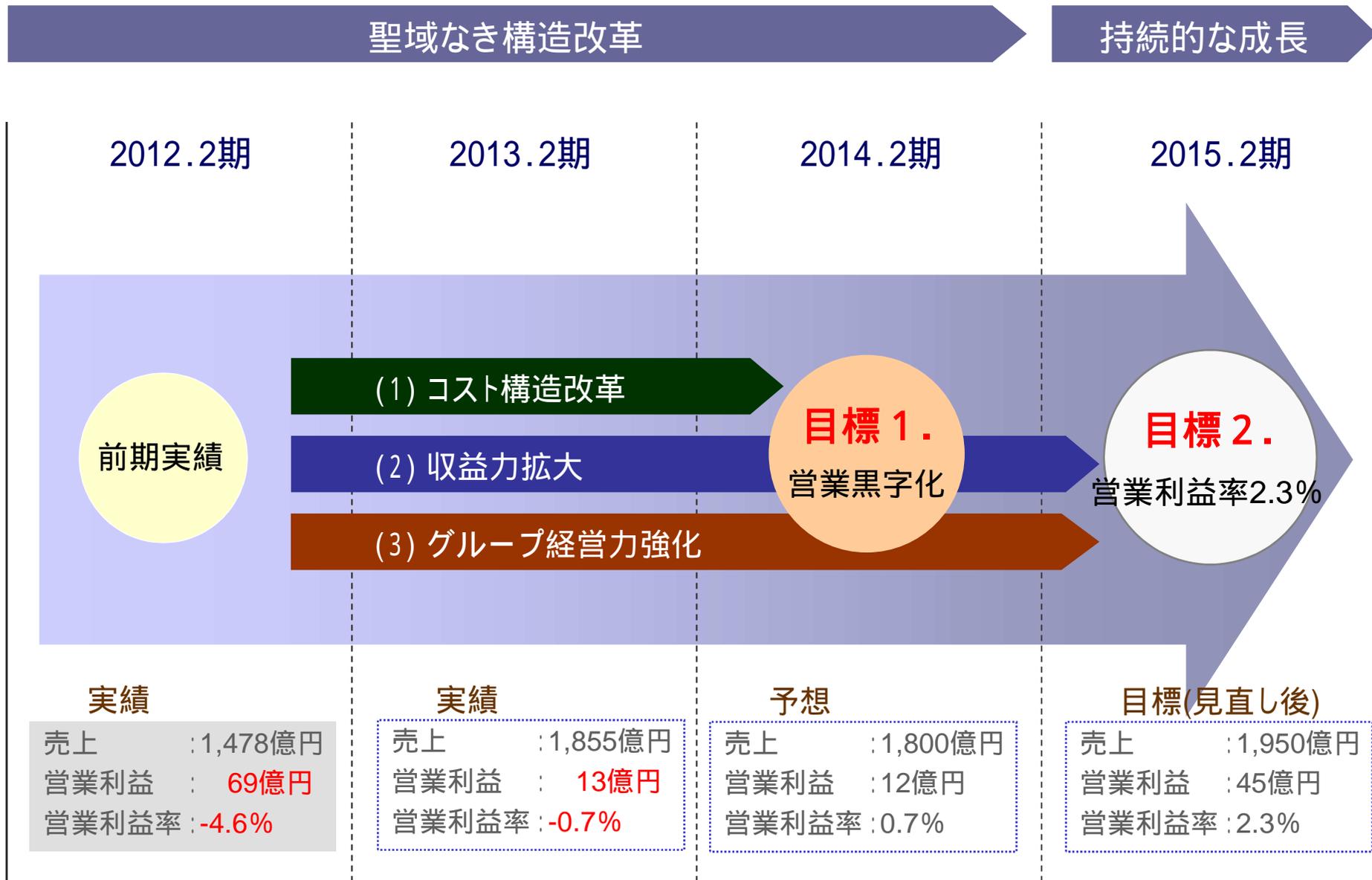
	2013.2期	2014.2期計画
一株あたり年間配当金	17.50円	17.50円
配当金総額	2,026百万円	

## (2) 自己株式取得

**株主還元策の一環として自己株式の取得を実施**

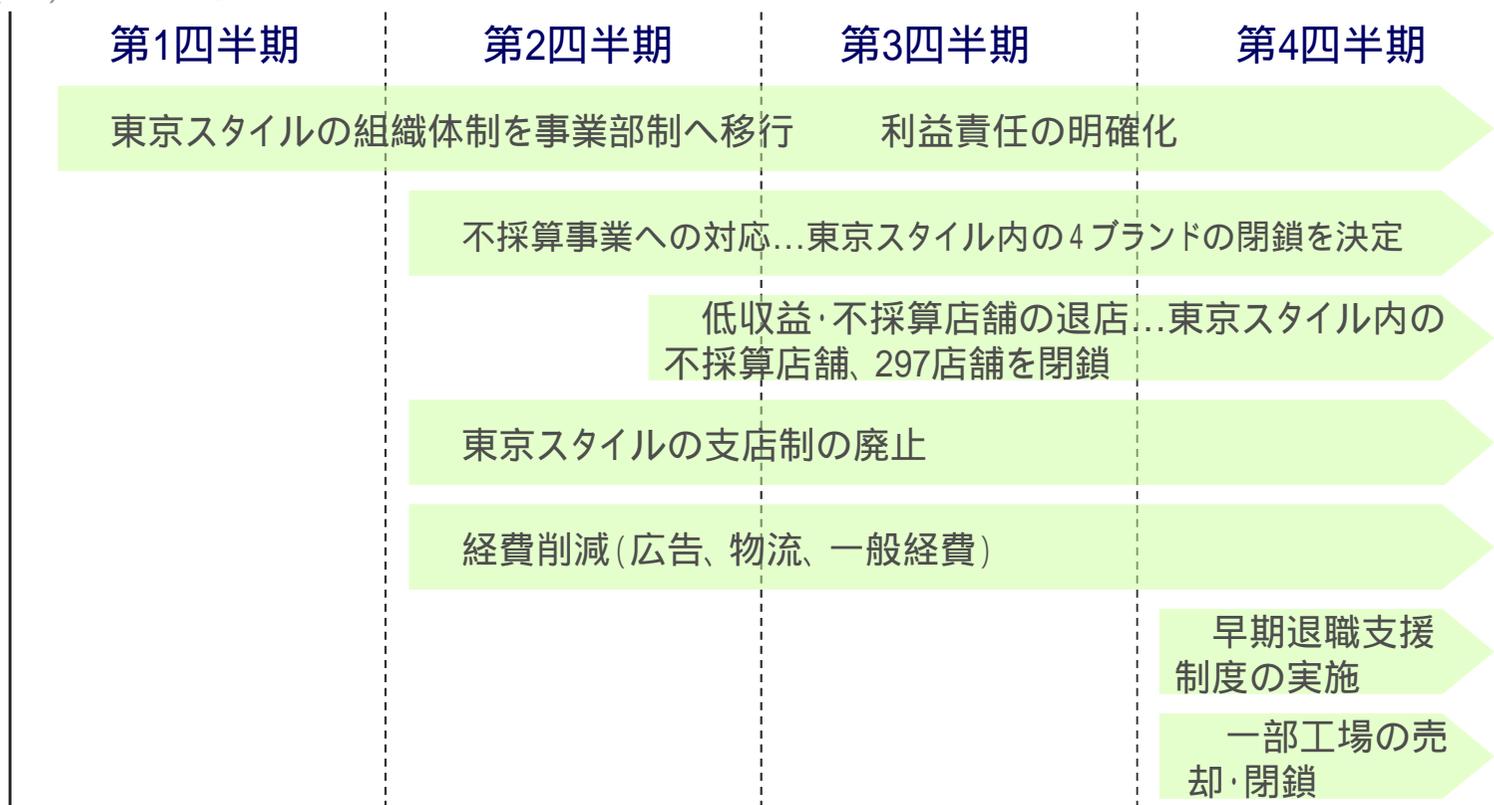
- 取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- 取得しうる株式の総数 : 4,000,000株(発行済み株式総数の3.45%)
- 株式の取得価額の増額 : 3,000百万円(上限)
- 取得期間 : 平成25年4月19日～平成25年9月30日

## TSIグループ中期経営計画進捗状況



聖域なき構造改革

(1) コスト構造改革



構造改革実施に伴うコスト削減額13億43百万円 + 追加削減額7億62百万円

削減科目	コスト構造改革による削減	追加削減額
人件費	903百万円	+ <b>762百万円</b>
物流費	40百万円	
広告宣伝費	400百万円	
その他		
計	<b>1,343百万円</b>	

### (2) 収益力拡大

#### 新規事業開発

- 2013年春夏シーズンより、カジュアルスタイル提案型のストア業態「Planet blue world」、ゴルフカジュアル「PEARLY GATES THE GREEN GOLF STORE」を展開

#### 主力事業の拡大

- 「nano・universe」、「NATURAL BEAUTY BASIC」等の大型ブランドに積極的に投資

#### 資産の有効活用

- 投資有価証券や遊休資産については積極的に売却を進め、本業における成長戦略加速のための手元資金の確保、借入金の返済原資へ充当

### (3) グループ経営力強化

#### TSI ホールディングスに機能を集約

- 東京スタイル、サンエー・インターナショナル個々に存在した、人事部門、経理部門、総務部門、システム部門を集約
- TSI ホールディングスの営業本部内に店舗開発部とWeb戦略事業準備室を新設  
東京スタイル、サンエー・インターナショナルの機能を集約

#### 生産機能の一元化

- TSI ホールディングス子会社のTSI・プロダクション・ネットワークに東京スタイル、サンエー・インターナショナルの生産物流部門を集約し、合理化を推進

#### 連結納税制度導入

- 国内100%子会社16社の法人税を2014年支払分から連結納税  
一体課税のメリットに加え、税務申告業務の効率化を推進

## 2014年2月期 見通し

売上高180,000百万円、営業利益1,200百万円を計画

(金額単位:百万円)

	上半期			下半期			通期		
	2013.2期 実績	2014.2期 予想	前期比	2013.2期 実績	2014.2期 予想	前期比	2013.2期 実績	2014.2期 予想	前期比
売上高	90,534	86,500	95.5%	94,978	93,500	98.4%	185,512	180,000	97.0%
営業利益	1,076	1,500		201	2,700		1,277	1,200	
経常利益	1,123	1,200		2,112	3,300		989	2,100	212.2%
当期純利益	2,424	2,300		644	1,500		1,779	800	

- 売上高 : 東京スタイルの店舗撤退、サンエー・インターナショナル子会社の株式譲渡等により減収
- 営業利益 : 東京スタイルの売上総利益率の上昇、販管費の減少等により黒字化
- 当期純利益 : 連結納税制度の導入により税負担は軽減されるものの、前期発生していた特別利益を今期は見込んでいないため、通期で800百万円の損失

## ( 1 ) 東京スタイルグループ

(金額単位:百万円)

	上半期			下半期			通期		
	2013.2期 実績	2014.2期 予想	前期比	2013.2期 実績	2014.2期 予想	前期比	2013.2期 実績	2014.2期 予想	前期比
売上高	39,254	37,200	94.8%	43,370	40,800	94.1%	82,624	78,000	94.4%
営業利益	1,505	810		626	1,789		2,132	978	
経常利益	1,655	510		1,482	2,389	161.2%	173	1,878	

## ( 2 ) サンエー・インターナショナルグループ

(金額単位:百万円)

	上半期			下半期			通期		
	2013.2期 実績	2014.2期 予想	前期比	2013.2期 実績	2014.2期 予想	前期比	2013.2期 実績	2014.2期 予想	前期比
売上高	51,312	49,134	95.8%	51,546	52,594	102.0%	102,859	101,729	98.9%
営業利益	628	696		77	834	1080.6%	705	138	19.6%
経常利益	786	686		297	869	292.8%	1,083	183	16.9%

## 参考資料

## 8. ブランド別売上高

(金額単位: 百万円)

ブランド名	2013.2期 通期計	構成比	前期比
1 nano・universe ●	19,592	10.6%	133.2%
2 NATURAL BEAUTY BASIC ●	14,060	7.6%	106.2%
3 MARGARET HOWELL ●	8,995	4.8%	113.6%
4 ROSE BUD ●	8,937	4.8%	
5 Apuweiser - riche ●	6,703	3.6%	
6 & by P&D ●	5,846	3.2%	102.8%
7 FREE'S SHOP ●	5,676	3.1%	92.4%
8 HUMAN WOMAN ●	5,581	3.0%	94.6%
9 PEARLY GATES ●	5,314	2.9%	112.3%
10 TORNADO MART ●	4,695	2.5%	106.0%
その他	100,109	54.0%	
<b>合計</b>	<b>185,512</b>	<b>100.0%</b>	

ROSE BUDの売上高は、(株)ローズバッドと(株)エレファントの連結売上高

ROSE BUDとApuweiser - richeは、前期中から連結子会社化したため、前期比の記載を省略

● 東京スタイルグループ

● サンエー・インターナショナルグループ

## 9. 販路別売上高

(金額単位:百万円)

販路別	2013.2期通期計						
	東京スタイルグループ		サンエー・インターナショナルグループ		その他・消去	連結	
	実績	構成比	実績	構成比		実績	構成比
百貨店	29,948	36.2%	30,987	30.1%		60,936	32.8%
非百貨店 1	30,785	33.8%	54,443	52.9%		85,229	45.9%
EC	9,372	11.3%	4,059	3.9%		13,432	7.2%
海外	5,528	7.2%	3,742	3.6%		9,270	5.0%
その他 2	6,989	11.4%	9,625	9.4%	28	16,644	9.0%
合計	82,624	100.0%	102,859	100.0%	28	185,512	100.0%

1:非百貨店:ファッションビル、駅ビル、路面店、アウトレット等

2:その他:卸や社販等のその他アパレル事業、グループ会社の非アパレル事業等

□本資料に記載されている当社の業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。